



# 環境監査

## ● 内部環境監査

当社は、環境パフォーマンスの継続的改善を含め年1回定期的に内部環境監査を実施しています。

<b>全社EMS監査</b>	実施責任者：全社環境管理総括責任者 監査員：①社外CEAR審査員資格者 ②社内内部環境監査員 受審責任者：全社環境管理責任者	<b>特別監査</b> 問題がある場合に実施
<b>事業部環境監査</b>	実施責任者：全社環境管理副総括責任者 監査員：内部環境監査員 受審責任者：事業部環境管理総括責任者	
<b>拠点環境監査</b>	実施責任者：事業部総括責任者 監査員：内部環境監査員 受審責任者：拠点環境管理総括責任者	

- 自主チェック**
- 拠点／事業部が自主チェックリストに基づいて活動状況を自己評価する。
  - チェック結果は内部環境監査の資料となる。
  - 協力会社については環境パトロールを拠点で実施。

## ● 内部環境監査の内容

### 1. 全社環境マネジメントシステム監査

パフォーマンスを含め、社外のCEAR登録審査員を監査リーダーとする監査チームに依頼

CEAR (Center of Environmental Auditors Registration: 環境審査員評価登録センター)  
 JAB (日本適合性認定協会) が認定した国内唯一の審査員評価登録機関で、JIS Q 14001 (ISO14001) 規格に基づいた環境マネジメントシステムの環境審査員を、JIS Q 14012 (ISO14012) 規格に準拠した資格基準によって評価し、主任審査員、審査員、審査員補として登録する機関。

### 2. 拠点／事業部監査

下記内容について点数評価 [【Logixnet賞 \(社内業績表彰制度\) とリンク】](#)

2003年度からマネジメントシステムの運用と活動成果の、合計100点満点で評価

#### (1) 環境マネジメントシステムの運用 (50点満点)

- ① 環境法令・条例／その他要求事項
- ② 環境管理計画 (目標、達成ための具体的施策、日程)
- ③ 運用管理 (日常管理の手順書)
- ④ 教育訓練の実施状況 (含緊急時対応)
- ⑤ 監視測定 (トレンド管理)
- ⑥ 不適合是正措置対応
- ⑦ コミュニケーション

#### (2) 環境活動の成果 (50点満点)

- ① 環境改善目標達成度 (目標値、施策、日程を考慮した目標達成度)
- ② 改善事例の水平展開 (含エコ論文、環境標語)
- ③ 表彰 (内部・外部)
- ④ 事故およびクレームの有無 (除他責)
- ⑤ 環境データの報告状況